

熊本電気鉄道株式会社(以下、「熊本電鉄」)は、このたび川崎重工業株式会社(以下、「川崎重工」)が開発した新型鉄道車両用台車「efWING®*1」を採用、藤崎宮前―御代志間において営業運転を開始しました。

今回、採用した efWING®は、川崎重工において、鉄道車両の台車フレームの一部を新素材 CFRP*2 とした上、サスペンションの役割を通常のコイルバネでなく CFRP バネに持たせることで 2 つの機能を 1 つに集約した鉄道車両に革新をもたらす“次世代台車”として開発されました。

2013 年度グッドデザイン賞金賞を受賞したほどの優れたデザイン性をもつ efWING®を生み出した川崎重工の先進性や合理性、環境や安全に配慮する経営方針に対する思いと、「地域とともに、地域住民のために」を企業理念とする私たち熊本電鉄が融合することによって、いつもご利用いただくお客様に対して新たな価値を提供できるものと確信しております。また、更には、輪重抜け*3 を半減させ、乗り上がり脱線係数が大幅に軽減され、運用上の安全性を向上させました。是非一度ご乗車いただき、その“乗り味”をご体感下さい。

当社では、efWING®の採用にとどまらず、お客様の立場で視て、考え、時代と社会の要請に対応できる価値を創造し続けて参ります。

※1 「efWING」：川崎重工の登録商標

※2 CFRP：炭素繊維強化プラスチック

※3 輪重抜け：曲線や線路不整を走行する際、車輪からレールに伝わる上下荷重が減少することであり、脱線原因の 1 つ

以 上

